

全保協ニュース

〔協議員情報〕

全 国 保 育 協 議 会

TEL. 03-3581-6503 FAX. 03-3581-6509

ホームページアドレス [<https://www.zenhokyo.gr.jp>]

－今号の目次－

- ◆ 社会福祉法人・福祉施設としてウクライナ避難民等への積極的な支援を！（全社協・社会福祉施設協議会連絡会）……………1
- ◆ 「第2回保育士養成課程検討会」が開催される（厚生労働省）……………2
- ◆ 令和4年度 全国保育士会 食育推進研修会（Web）開催のご案内
／8月1日（月）……………4

◆ 社会福祉法人・福祉施設としてウクライナ避難民等への積極的な支援を！（全社協・社会福祉施設協議会連絡会）

全社協・社会福祉施設協議会連絡会は、全国の社会福祉法人・福祉施設に対してウクライナ避難民等への積極的な支援を呼びかけています。本連絡会は、全国保育協議会および全国保育士会を含む、社会福祉施設関係の種別協議会13団体で構成されており、会長会議には奥村尚三会長が参画しています。

現在、ウクライナからわが国への避難民は1千人を超えており、生活支援はこれから本格化していく段階です。平和と人権擁護を基盤とし、地域共生社会をめざす社会福祉法人として、避難民を支援していくことは重要な使命であり、積極的かつ継続的な取り組みが求められます。また、このような取り組みの必要性は、ウクライナのみならず、アジアやアフリカからの難民等を含む外国人への支援にも通ずるものです。

各地の社会福祉法人では、ウクライナ避難民等の生活支援に向けて、外国人雇用のノウハウを生かした就労の受け入れや、行政・社協等との支援ネットワークへの参画などの取り組みが進められています。

本連絡会では、情報収集・発信を通じてこうした取り組みの推進を図るとともに、必要な支援活動について引き続き協議を行っていくこととしております。

呼びかけについては、別添資料「1」をご参照ください。

◆「第 2 回保育士養成課程検討会」が開催される(厚生労働省)

令和 4 年 6 月 13 日 (月)、第 2 回保育士養成課程検討会 (厚生労働省) がオンラインにて開催されました。本ニュース No. 10 にて既報のとおり、全国保育士会から北野久美副会長が委員として参画しています。

第 2 回検討会においては、幼稚園教諭免許状のみで幼保連携型認定こども園で働いている者の保育士資格取得をさらに促進させるための方策について、論点整理の案が示されました。

論点整理案では、資格の取得にかかる特例教科目を 8 単位から 6 単位*に見直すにあたり、修得すべき内容の担保が必要であることから、特に重点を置くべき内容が示されました。

※「乳児保育」と「子ども家庭支援論」をそれぞれ 1 単位とする。

こども家庭支援論 (現行の内容のうち、1～3 の項目)

1. 子ども家庭支援の意義と体制

- (1) 子ども家庭支援の意義・目的・機能
- (2) 保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義
- (3) 子育て家庭に対する支援のための社会資源と施策

2. 保育士による子ども家庭支援の基本

- (1) 保育士に求められる基本的態度
- (2) 保育士の行う子育て支援の特性

3. 多様な支援の展開と関係機関との連携

- (1) 子ども家庭支援の内容と対象
- (2) 保育所入所児童の家庭への支援
- (3) 地域の子育て家庭への支援
- (4) 要保護児童等及びその家庭に対する支援

4. 保育士の行う子育て支援の展開

- (1) 子ども及び保護者の状況・状態の把握
- (2) 支援の計画と環境の構成
- (3) 支援の実践・記録・評価・カンファレンス
- (4) 職員間の連携・協働
- (5) 社会資源の活用と自治体・関係機関や専門職との連携・協働

5. 保育士の行う子育て支援の実践 (内容・方法・技術)

- (1) 保育所における家庭への支援の実践
- (2) 児童養護施設、母子生活支援施設等における家庭への支援の実践

(3) 障害児支援関係施設における家庭への支援の実際

乳児保育（現行の内容のうち、3～5の項目）

1. 乳児保育の理念と役割

- (1) 乳児保育の理念と歴史的変遷
- (2) 乳児保育の役割と機能

2. 乳児保育の現状と課題

- (1) 保育所における乳児保育
- (2) 乳児院における乳児保育
- (3) 家庭的保育等における乳児保育
- (4) 3歳未満児や家庭を取り巻く環境と子育て支援の場

3. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育内容

- (1) 3歳未満児の生活と環境
- (2) 3歳未満児の遊びと環境
- (3) 3歳以上児の保育に移行する時期の保育
- (4) 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育士等による援助や関わり
- (5) 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育における配慮

4. 乳児保育の実際

- (1) 全体的な計画に基づく指導計画の作成と観察・記録及び自己評価
- (2) 個々の発達を促す生活と遊びの環境
- (3) 職員間の連携・協働

5. 乳児保育における連携・協働

- (1) 保護者との連携・協働
- (2) 自治体や地域の関係機関等との連携・協働

さらに、これまでの実務経験と学びを結びつけることが重要であることから、「授業開始前に、幼保連携型認定こども園における2年間の実務経験を中心として、各受講者がこれまで経験した内容を把握して、実践を活かした授業を展開する」工夫が必要であることが示されました。

全国保育士会 北野副会長からは、「乳児保育は見ているだけでは学べないことも多く、受講者によって実務経験に差が生じることから、これまでの経験を評価するスケールが必要」「保育所保育指針の理解を深める講座上の工夫が必要」「講座の展開にあたり、保育士養成協議会との連携と協力が必要」等の意見を述べています。

なお、第2回検討会後、6月15日（水）に論点整理の確定版が公表されています。

今後は、令和4年の夏ごろに告示または通知の改正が行われた後に、各自治体や特例の対象者、保育士養成校等へ周知され、令和5年4月より適用が開始される予定です。

詳細は、以下をご参照ください。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/25715.html>

◆ 令和4年度 全国保育士会 食育推進研修会(Web) 開催のご案内／8月1日(月)開催

全国保育士会では、「令和4年度 食育推進研修会（Web）」を8月1日（月）に開催します（新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和3年度に引き続き Zoom を使用したオンラインによるライブ配信で実施）。

本研修会は、昨今の子どもの食育をとりまく課題の共有をはかり、コロナ禍での食育のあり方や口腔機能の発達段階に応じた食育、食育計画をもとにした食育実践等を学ぶとともに、保育所・認定こども園等における食育の意義や役割を考え、保育の質を向上させることを目的に開催します。

人が生きるうえでの基礎、基盤となる乳幼児期の「食育」について、基本的な知識から「with コロナ」時代の今に生きる具体例まで学べる内容です。

是非ご参加ください。

【日 時】 令和4年8月1日（月）12：30 ～ 17：00

【開催方法】 Zoom を使用したオンラインによるリアルタイム配信

【参加費】 4,500 円（お一人あたり。資料代込）

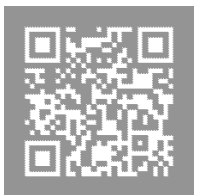
【プログラム】

時 間	内 容
12:00～	受付開始
12:30～12:45	「全国保育士会 倫理綱領」唱和 「全国保育士会 食育推進ビジョン」唱和 開会あいさつ 全国保育士会
12:45～13:00	「全国保育士会 食育推進ビジョン」について
13:00～14:00 (60 分)	講義Ⅰ 保育における食育「食を営む力」の基礎を培う 駒田 聡子 氏（皇學館大學 教授）
14:00～14:15	休憩

14:15～15:15 (60 分)	講義Ⅱ 口腔機能の発達段階に応じた食育 浜野 美幸 氏（千葉歯科医院院長／日本小児歯科学会常務理事／日本小児歯科学会認定専門医）
15:15～15:30	休憩
15:30～17:00 (90 分)	講義Ⅲ コロナ禍における食育計画を基にした 食育実践の取り組み ※事例報告含む 野口 孝則 氏（上越教育大学大学院 教授）

【お申込み】 7月14日（木）までに、下記専用サイトにてお申込ください。

(<https://www.mwt-mice.com/events/hoikushikai220801>)



※ 開催要項およびお申し込み等の詳細は下記ホームページをご確認ください。

■全国保育士会ホームページ＞研修会＞全国保育士研修会

(<https://www.z-hoikushikai.com/kensyukai/kensyukai.php?id=100>)